

第6次(2022~2025) 東葛飾地域 農林業振興方針の概要

＜現状・課題＞

- ・新たな担い手の確保・育成
- ・産地の維持・発展
- ・地域住民に理解される農林業の実践
- ・災害等に対するリスク管理
- ・経営能力向上と高収益農業の実現
- ・生産基盤施設の維持・強化

＜目指す姿＞

- ・後継者や新規参入者、雇用就農者等の多様な担い手による農業の展開
- ・収益力や十分な所得確保可能な農業経営の実践
- ・野菜や日本なしの産地、米などの生産力の維持
- ・将来にわたって農業生産が確保される生産基盤の整備
- ・地域住民から理解、応援される共生可能な都市農業の展開
- ・リスクに備え、災害に負けない農業経営の実践

＜基本施策＞

持続可能な農業の環境づくり

- ・担い手への農地利用集積の推進
- ・荒廃農地対策の推進
- ・高収益化・省力化の推進
- ・水田農業部門（安定した経営の推進）
- ・園芸部門（生産基盤の強化）
- ・畜産部門（生産性の向上の推進）
- ・有害鳥獣等被害防止対策の推進
- ・農業水利施設の長寿命化対策

災害に強い農業地域づくり

- ・自然災害の被害に備えた農業の推進
- ・家畜伝染病に対する防疫体制の整備・強化
- ・排水機場等の機能強化

未来を担う担い手の確保と育成

- ・次世代の都市農業を支える新たな人材の確保・定着
- ・青年農業者及び女性農業者の経営力向上
- ・経営感覚に優れた担い手の育成

市民と共生する農業の実現

- ・市民の信頼が得られる安全・安心な農業の推進
- ・農業者等が行う農村の多面的機能の維持・発揮
- ・都市農業への理解の醸成
- ・立地を生かした販売の促進

森林資源の循環利用

- ・多様な人材の確保・育成
- ・県産木材の利用促進
- ・里山の多面的機能の発揮

＜重点施策＞

次世代の都市農業を支える新たな担い手の育成（全域）

＜目指す姿＞

- ・経営の発展と地域農業振興に寄与する農業者

＜目標＞

- | | (現行) | (目標) |
|-------------------------------|------|------|
| ・50歳未満の認定新規就農者数 | 36名 | 161名 |
| ・家族経営協定の共同申請を活用した50歳未満の認定農業者数 | 3名 | 53名 |

森林環境譲与税を活用した市町村間の広域連携による森林整備等の推進（全域）

＜目指す姿＞

- ・都市部と森林地域の連携による森林利活用の推進

＜目標＞

- | | (現行) | (目標) |
|--------------------------------------|------|------|
| ・森林環境譲与税を活用した市町村間の広域連携による森林整備等に取組む市数 | 1市 | 3市 |

都市農業の立地を活かした園芸産地の振興（全域）

＜目指す姿＞

- ・産地の維持、発展

＜目標＞

- | | (現行) | (目標) |
|------------------|--------|--------|
| ・日本なし改植面積 | 87ha | 187ha |
| ・ねぎ生産面積60a以上の経営体 | 24戸 | 38戸 |
| ・主要なねぎ生産者における生産量 | 1,800t | 1,900t |

将来に繋がる水田農業の展開(手賀沼周辺の水田地域)

＜目指す姿＞

- ・生産管理の効率化、安定した水稲経営
- ・国営事業と連携した施設整備の推進

＜目標＞

- | | (現行) | (目標) |
|----------------------|-------|-------|
| ・大規模水稲経営体12戸の経営面積の拡大 | 434ha | 490ha |

多様な担い手による地域と共生した都市農林業の実現